

令和6年7月17日号

御幸が原小だより

～駆け抜けた3か月～



発行 宇都宮市立御幸が原小学校

校長 稲澤 正明

栃木県宇都宮市御幸ヶ原町 53-2

TEL 028-663-0358

e-mail mihara-e@ueis.ed.jp



学校 HP QRコード

4月の始業式からこれまでの約3か月半を振り返ってみると、あっという間に過ぎたような気がしています。4月。たくさんの新たな出会いがありました。始業式では多くの子どもたちが新しい担任の先生、新しい友だちと共に新学年をスタートさせました。また、入学式では48名の新たな「みはらっ子」をお迎えしました。5月には1～4年生が遠足に行きました。新たな仲間と共に楽しい思い出と集団行動の学びがあったことでしょう。6月は6年生の修学旅行がありました。班別行動では事前の細かな計画に沿って自分たちで考えて行動することができ、頼もしさと成長を強く感じました。7月には「NHKこども音楽クラブ」の開催、恒例のチャレンジギネス、宇都宮市水泳競技大会、6年生による音楽集会がありました。主な行事について取り上げてみましたが、もちろんこの間に、子どもたちは教室での学習にも日々頑張っていました。また、クラス編成のあった学級では新しい仲間とよい関係を築くための努力もしてきたことでしょう。冒頭で「振り返るとあっという間」と書きましたが、子供たちはその時々を全力で駆け抜け、中身の濃い時間を過ごしてくれたものと思っています。また、そのみはらっ子に対して、年度当初から様々な形で子供たちの学びと学校の環境づくりに尽力をくださったボランティアの方々にこの場をお借りいたしまして改めて感謝申し上げます。

NHK交響樂團の方たちがやってきた

7月2日(火)にNHK交響樂團に所属されている4名の方に来校いただき「NHKこども音楽クラブ」を開催いたしました。内容は弦楽器四重奏による交響曲や子供たちになじみのあるトトロや鬼滅の主題歌、指揮の体験など盛りだくさんで、あっという間の1時間でした。この取組は当日のNHKニュース「とちぎ630」や翌日の新聞でも扱われました。子供たちには常々「ジャンルを問わず様々な本物に触れて欲しい。それはこの年齢だからこそもち得る感性と吸収力があるから…」今回は音楽という分野で、本物中の本物に触れ、普段の音楽の授業とは違った切り口で子供たちの心に音楽の種を蒔くことができたと思っています。演奏をしてくださったN響の皆さま、準備の段階から多大なご尽力をいただいたNHK宇都宮放送局の皆さま、素晴らしい機会をありがとうございました。



宇都宮市水泳競技大会参加

7月9日（火）に「ドリームプールかわち」にて実施されました。この大会に向けて、参加者及び放課後に水泳の練習をしたい児童を募ったところ、たくさんの児童が「挑戦」の意志を示しました。大会では全ての競技にエントリーすることができ、練習の成果を十分発揮してくれたと思っています。今回の取組は『みはら Passion 挑戦』が十分に発揮され、参加児童たちは水泳の技術以外のものも手に入れてくれたと思っています。



校外学習の取組

1年生は御幸公園でこの季節ならではの自然を探しに、2年生は自分たちの暮らすまちの施設やお店を探検し、4年生はバスに乗って宇都宮市川田水再生センターを見学しました。暑い中、学習支援ボランティアの方々にもたいへんお世話になりました。



青粋：1年生 赤粋：3年生

緑粋：4年生（施設見学＋お届けセミナー）

お見事！模範演奏（7月16日）

今年度初めての音楽集会はもちろん6年生から。曲目は「L-O-V-E」たくさんの楽器の音色がハーモニーとなって心地よく響きました。演奏はもちろん全校児童の前での堂々とした態度もとても立派でした。



～ 雑 感 ～

私は幼い頃から体を動かすことが好きで、小学生の時は野球に熱中していました。私の母校は緑が丘小学校なのですが、当時は子どもの数も多く、男子の間では野球が人気のスポーツでした。そのため各町内（自治会）には必ずチームがあり、更に学校としても1チームありました。私は町内のチームには3年生から入り、5年生からは両方のチームに所属していました。平日は学校が終わると毎日のようにグローブ・バット・ボールをもって駄菓子屋さんを経由し、遊びに出かけていました。チームの練習は、土曜の午後（当時は土曜の午前は授業）と日曜日で、週末の練習がいつも待ち遠しくなるほど夢中でした。学校としてのチーム（学童野球と呼ばれていた）の試合は当時あまり多くなく、公式戦は年間3回。5年時秋の新人戦、6年時の春季大会、そして夏の大会でした。デビュー戦となった新人戦1回戦の雨と寒さは今でも鮮明に覚えています。そして、この大会で何とか準優勝し、いただいたメダルは（100円玉程度の大きさですが）今でも私の宝物です。夏の県大会での総合運動公園園球場で行った吹奏楽の演奏による入場行進は今でもよい思い出です。第3シードで迎えたこの大会では、順調に勝ち進んだもののベスト8をかけた試合でサヨナラ負け。レフト方向に飛んだボールの飛球線は今でも忘れません。全身の力が抜け、初めて悔し涙を流しました。これが6年夏の思い出です。ただただ野球が好きで夢中になって取り組んでいましたが、今振り返ると、野球を通して様々なことを経験し学べたような気がしています。

たくさんの可能性を持った子どもたち。心も体も大きく成長できる今、子どもたちには様々なことを経験し、心も体も大きく成長して欲しいと願っています。素敵な夏休みを・・・。